ダムニュース

［法　人　名］一般財団法人ダム技術センター
［郵 便 番 号］〒110-0008
［住　　所］東京都台東区池之端2-9-7池之端日殖ビル2F
［電　　話］03-5815-4161
［ F A X ］03-5815-4162
［ webサイト ］http://www.jdec.or.jp/
［電子 メール］damnews@jdec.or.jp

この号の内容

1　ダム吹鳴試験及び住民参加型避難行動訓練の実施について～浅瀬石川ダム・津軽ダム～

2　Dam news　投稿記事募集

3　「ダム技術 8月 」の目次

4　ダム工事積算の解説【令和3年度版】発行

5　図書販売

少雨の影響で水位が下がり水中にかつての目屋ダムが見えてきた津軽ダム（津軽白神湖）（令和3年8月6日撮影）

▲浅瀬石川ダム下流「落合警報所」からの緊急放流の案内放送

▲警報所スピーカ・サイレンの音量を測定し、目標値をクリアしていることを確認

▲案内放送・サイレン音を確認し、避難準備！

▲避難所まで避難行動訓練

▲避難行動訓練を終えて、「浅瀬石川ダム下流浸水想定図」の説明を受ける地域住民

ダム吹鳴（すいめい）試験　及び
住民参加型避難行動訓練の実施について
～浅瀬石川ダム・津軽ダム～

当岩木川ダム統合管理事務所が管理する浅瀬石川ダムと津軽ダムでは、令和3年7月8日（木）と9日（金）の2日間で、大規模洪水を想定した「ダム吹鳴試験」を実施しました。

初日は、浅瀬石川ダム9時開始で、上流から最下流の真那板警報所までの全27箇所で、スピーカーから「緊急放流」の際に流す案内放送を流し、その後60秒間のサイレンを繰り返し4回鳴らし、付近の住民に確実に情報が伝わるかどうか、音の届き方を確認しました。2日目も津軽ダムと下流の4警報所で同様の試験を行いました。

また、吹鳴試験にあわせて実施した「避難行動訓練」には、浅瀬石川ダム下流の黒石市板留地区の落合警報所周辺の住民7名と、津軽ダム下流の西目屋村の居森平警報所周辺の住民8名が参加しました。

今回の吹鳴試験や避難行動訓練をきっかけに、防災意識の向上に繋げていただくことが主な実施目的です。

浅瀬石川ダム下流の避難行動訓練に参加した丹羽（にわ）さんは、報道記者の質問に対し、「この辺りは、崖、水、全てに係わる地域なのでよほど気を付けていかなければならない。自助・共助どちらも大事。みんなで協力して安心な場所に避難できるようにしたい」とお答えになられました。

最後に当事務所技術副所長の佐々木は、「仮にダムが緊急放流をするような場面でも、各自治体が発する避難情報に従い、是非「いのちを守る行動」をしていただきたい」とコメントしました。

今回の訓練実施地域以外の方も、各自治体が発行する防災マップや当事務所がホームページで公開している1,000年に一度を想定した「浸水想定図」をこの機会にご確認いただき、皆様お一人お一人の防災意識の向上にお役立てください。

吹鳴試験等は、来年度以降も継続して実施する予定です。

※緊急放流とは、計画以上の洪水によりダム湖に貯められなくなり、ダム湖に流れ込んでくる水をそのままダムを通過させ、下流に流すことです。ダム湖に流れ込んでくる水量以上を下流に流すことはありません。

（国土交通省東北地方整備局　岩木川ダム統合管理事務所）

Dam　news　投稿記事募集

『ダムニュース』編集事務局では、下記のようなあらゆる情報・話題を広く募集しております。
内容等につきましては特に問いませんので、下記を参照の上、積極的にご投稿くださいますようお願い申し上げます。

1．イベントの開催通知・報告（水の週間、サマーカーニバル、花火大会、コンサート等）

2．小学生等によるダム見学会についての報告（絵・感想文等）

3．ダム所在地等における伝統的な行事の紹介（祭り等）

4．ダム事業に関するPR 活動の紹介（パンフレット、ポスター等）

5．ダム周辺の自然紹介

6．ダム周辺の観光レクリエーション活動の紹介（スポーツ大会等）

7．研究会・講演会・シンポジウムの開催（通知・報告）

8．水害・地震等報告

9．ダム資料館・交流館等の紹介

なお、ご不明な点及び執筆にあたっての要領等につきましては、下記担当までご連絡ください。

※ダムニュースの配信先変更や配信停止などのご希望がありましたら、
ダムニュース編集事務局までご連絡をお願い致します。

［法人名］　一般財団法人　ダム技術センター『ダムニュース』　編集事務局
［郵便番号］〒110-0008
［住所］東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F
［担当者］企画部　ダムニュース担当
［電話］03-5815-4161
［FAX］　03-5815-4162
［電子メール］damnews@jdec.or.jp

AUGUST
2021

ダム技術

No. 419

目　　次

巻　頭　言　令和3年上半期を振り返る

一般財団法人水源地環境センター理事長　平　井　秀　輝

講　　座　流水の減勢（3）　跳水式減勢工の設計（2）

一般財団法人ダム技術センター顧問　髙　須　修　二

技術研究　連動型大規模地震に対するロックフィルダムの地震時挙動
及び耐震性能照査手法の検討

一般財団法人ダム技術センター　安　田　成　夫

(株)J-POWER ビジネスサービス　曹　　増　延

三重県県土整備部河川課　中　森　康　介

現場報告　平瀬ダムにおけるダム基礎岩盤の止水処理

山口県錦川総合開発事務所課長　吉　岡　　進

〃　主査　田　戸　徳　彦

〃　主任技師　松　浦　充　志

ウォーキングマップを活用したダムの広報の取り組み

滋賀県琵琶湖環境部下水道課
(前)滋賀県土木交通部流域政策局水源地域対策室　松　岡　友　香

ダムの周辺　～地域と共に～　灰塚ダム

国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所灰塚ダム管理支所長　小　松　芳　彦

文献紹介

編集事務局から

第36回「ダムフォトコンテスト」応募要領

新刊案内

令和３年８月発行

ダム工事積算の解説
令和３年度版（2021年度版）

＜編纂＞一般財団法人ダム技術センター

ダム工事における積算の基準化作業は、昭和44年度より着手し、昭和45年4月には「特定多目的ダム積算資料（案）」が作成され、全国統一に向けて第一歩を踏み出しました。

その後、昭和46年には、抜本的な積算基準を作成するため、ダム工事の施工計画、積算基準等に精通した有識者で構成される「ダム積算委員会」が設置され、全国の施工中ダムを対象とした合理化調査結果に基づく歩掛項目の追加や改訂等の検討が逐次行われてきました。

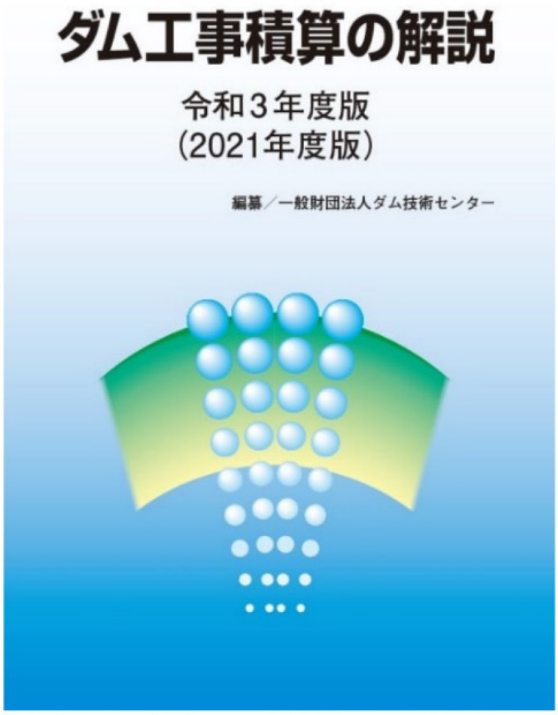
今年度の国土交通省ダム工事積算資料の改定においては、毎年の実態調査結果に基づく改定に加え、平成31年4月の労働基準法の改正や、令和元年6月の公共工事の品質確保の促進に関する法律の改正等、建設業における働き方改革の実現にむけた各種取組を踏まえ、ダム本体工事における長時間労働の是正、週休2日の確保など適正工期の設定に必要な改定がおこなわれています。

一般財団法人ダム技術センターでは、大規模かつ高度な技術力を要するダム工事の積算に携わる官公庁職員、コンサルタント、建設会社等の関係者の実務を支援するとともに、上記委員会で各年度改訂される事項にも的確に対応することを目的に本書の編纂を行いました。

本書が、数多くのダム技術者に活用され、それぞれの業務に役立つことを切に期待しています。

◆目　次

第１章　総　　則
第２章　ダ　ム　土　工
第３章　コンクリートダム堤体工
第４章　台形ＣＳＧダム堤体工
第５章　フィルダム堤体工
第６章　フィルダム洪水吐工
第７章　ボーリンググラウチング工
第８章　仮設費及び共通仮設費
第９章　現　場　管　理　費
第１０章　一　般　管　理　費　等



価格 2,900円（税込、送料別）

図　書　販　売

1. ダム技術
   ・月刊誌 A4 判 12 部/年 年度契約（定期購読申込）
   令和3 年4 月号（No.415）～令和4 年3 月号（No.426）1,260円（税別・送料込）

2. 多目的ダムの建設 平成17年版（全7巻）
   ・平成17 年 6 月発行 A4 判 88,200 円（税込・送料別）

3. RCD工法技術の進歩
   ・平成17 年 12 月発行 A4 判 4,500 円（税込・送料別）

4. ダムの安全管理
   ・平成18 年 5 月発行 B5 判 2,000 円（税込・送料別）

5. 台形CSG ダム施工・品質管理技術資料
   ・平成19 年 9 月発行 A4 判 2,000 円（税込・送料別）

6. 地質現象とダム
   ・平成20 年 6 月発行 A4 判 7,000 円（税込・送料別）

7. 改訂3版 コンクリートダムの細部技術
   ・平成22 年 8 月発行 A5 判 6,000 円（税込・送料別）

8. 改訂版　巡航RCD工法施工技術資料
   ・平成24 年 2 月発行 A4 判 2,000 円（税込・送料別）

9. 台形CSG ダム設計・施工・品質管理技術資料
   ・平成24 年 6 月発行 A4 判 3,000 円（税込・送料別）

10. ダム基礎における立体的岩盤透水性分布の把握手法
    ・平成25年 5 月発行 A4 判 5,000 円（税込・送料別）

11. ダム技術Q&A－総集編－改訂版Ⅰ
    ・平成27年3月発行　A4判 3,000円（税別・送料別）

12. ダムの地質調査―ボーリング・調査坑・トレンチ―
    ・平成27年3月発行　A4判 6,000円（税込・送料別）

13. RCD工法施工技術資料
    ・平成31年3月発行　A4判 5,000円（税込・送料別）

14. 岩盤画像の取得と活用
    ・令和3年3月発行　A4判 7,000円（税込・送料別）

15. ダム工事積算の解説（令和3年度版）
    ・令和3年8月発行　A4判 2,900円（税込・送料別）

書店では販売をしておりません。
お申込みは、ダム技術センターへ、FAXまたはE-mailをご利用下さい。
申込用紙の形式は定めておりませんが、参考形式が必要な方は、当センターホームページにて、出版物の項目よりPDF形式でダウンロードする事が可能となっております。

［法人名］　一般財団法人　ダム技術センター　図書販売
［郵便番号］〒110-0008
［住所］東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F
［担当者］図書販売担当
［電話］03-5815-4161
［FAX］　03-5815-4162
［電子メール］books@jdec.or.jp

図書注文書

一般財団法人ダム技術センター図書販売担当宛

FAX（03-5815-4162）

下記のとおり注文します。

No	書籍名	部数
1		
2		
3		

＊公/私どちらかに〇をお付け下さい。 公→宛名（会社名）　私→宛名（申込者名）となります。	公・（宛名（会社名））　私・（宛名（申込者名））		
申込者 （ご氏名）	ふりがな		
会社名			
事務所名・ 部署名			
所在地	（〒　　－　　）		
TEL		FAX	
E-mail			
通信欄			

◆ご注文の商品は、3 日～10 日程度でお手元に届きます。

◆請求書、納品書、見積書は、商品とは別途郵送にてお届けいたします。(到着日は、商品と1 日程度誤差あり)

◆代金お支払いについて、郵便振替時の手数料は当センターが負担いたします。なお、銀行振込でお支払いされる場合には、お手数ですがお振込日・お取扱銀行・請求書番号(請求書右上)・金額を必ず書面(FAX もしくは通知状)にてご通知下さい。

◆銀行振込の手数料は、お客様のご負担となります。ご通知がない場合、代金が振り込まれても未払い扱いとなり、後日再請求する可能性があります。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◆特定の様式による請求書等をご希望の際は、注文書、指定請求用紙などを同封の上、郵便もしくはFAX、E-mail等にて上記の問い合わせ先にお申し込み下さい。なお、郵便によるご注文の場合、商品到着までに通常より日数がかかりますのでご了承下さい。

［法人名］　一般財団法人　ダム技術センター　図書販売
［郵便番号］〒110-0008
［住所］東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F
［担当者］図書販売担当
［電話］03-5815-4161
［FAX］　03-5815-4162
［電子メール］books@jdec.or.jp